

バストス週報 号外 一九五四年 十月二日 発行

Director Kuniti Mori
Redator SHION ODA
Rua
Paul. Vargas
N. 188
C. P. 112
Bastos

水道借款助成金 並に

電話架設許可に成功

バストスの文化衛生施設愈々実現
リーノ市長の大手柄 19

先般来バストスの上下水道問題では市長初め関係者方面に於て懸命な努力をつづけて居たが、愈々申請運動効を奏し、去る九月三十日、州統領ルツカス、ノケイラ、ガルセースの裁下署名により約五千コントスの助成金借款に成功した。そして本契約は聖市ドトル、メナッチ、エルピツシナ氏のクベリオシニの番登記役場台帳一五五号第七十六頁に記載されて居る。

今一つのバストス人の為めに朗報がある。それは一年も前から希望し運動しつづけていた電話が架設されることである。ワパンに在るコンパニアテレホニカ、アルタパウリスタの線がバストスを通り、ランシヤリアからフルネンテに至り、奥パウリスタを一巡するものであるが、此の方は州令ニシ、六五四一E（九月廿一日附）で裁可された。

これらの運動に當つた人は、ルシアーノ、ノケイラ、フリーリヨ、及びP. S. D 政府党の州議であるが、選挙地盤でもあるので何とかバストスの更生の為の一臂の力を貸したいと、リーノ市長と共に、与党の力を發揮して馬力をかけてくれたものらしい。何れにせよ、バストスにとっては大朗報である。党派のいかに問はず、此の盡力者、ガルセース知事並ルシアーノ州議、並市長に感謝すべきである。

地方農業技師 いよ 赴任

ホーリス、ブッシュ、エネール、農業技師は農務長官の命を受けてバストスのカーザラポウラに赴任することになった由、事務所決定次方開所の旨